

会議名	(社) 農林水産技術情報協会 (平成 18 年度第 4 回) 第 484 回技術情報交流セミナー 「食品の機能性評価法の現状と展望」
開催日時	平成 18 年 9 月 12 日(火) 14:00~16:00
開催場所	製粉会館 6 階会議室 (東京都中央区日本橋兜町)
主催者	(社) 農林水産技術情報協会
参加人数(概数)	約 60 名 (別添名簿) 内訳; 県関係 17、会社 27、団体等 11、ほか 5
1. 会議の概要	<p>本年 4 月に 4 法人が統合して (独) 農業・食品産業技術総合研究機構が発足して食品総合研究所はその内部研究所となり、同時に畜草研を含む各研究所の機能性に関する研究組織を横断的に結んで「食品機能性研究センター」がスタートした。併せて、農水省の食料産業クラスター事業 (総合食料局) の技術普及拠点として設置された「食品機能性評価支援センター」と連携して、食品の機能性を活用して地域食品のブランド化を図るとしている。これらの紹介も含めて本セミナーが開催された。</p> <p>食品の機能性評価法には化学反応あるいは酵素反応によるもの、培養動物細胞を用いるもの、機器分析によるものなどさまざまであり、適切な評価法を用いて生体調節機能などを評価することにより、地域農産物やその加工品の高付加価値化につながることを期待される。講師は、食品の機能性評価の現状と新しい機構を紹介した。これに参加して収集した畜産物を含む食品の機能性評価法についての情報を報告する。(添付資料参照)</p> <p>講師; (独) 農研機構 食総研 機能性成分解析ユニット長 新本 洋士 氏 公演内容を要約すれば、食品の生理的機能 (第 3 次機能) の測定法はすべて標準化されているわけではなく、測定キットなどにより標準化されれば「古い測定法」となり、研究者は常に新しい独自の測定法を求めている。しかし複雑な測定法は普及せず、また新しい手技の習得・維持は困難である。抗酸化性 (ラジカル消去法) の測定はキット化されて手軽に測定できるが、すでに主な農産物、食品で測定されている。食品の生理的機能を測定する場合、試料が沢山ある場合は測定法の簡便さが重要である。逆に、生理的機能を詳しく調べる場合は複雑な実験系を用いて機能性発現機構まで踏み込んだ測定を行なう。最終的にはヒトを用いた実証試験を行なう必要がある。特保申請のためには中立的な機関での実証や学術誌への論文発表が求められる。</p> <p>目的とする試料の生理的機能を測定することは一般の試験研究機関が受託することは困難である。複雑な生理機能測定系を常時複数平衡し、何種類もの細胞や動物を維持しなければならないためであり、このため、守秘義務にも配慮している新しい「評価支援センター」の利用が役立つ。</p> <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Q ; 「食品機能性」についての国際的研究展開方向如何。 A ; 誰も考えていないようで、国際交流もない。 ・ Q ; 「食品安全性」について。 A ; 安全性の上に立つことが前提。対象外。 ・ Q ; 「表示」について。 A ; 厚生労働省。

<p>2. 今後の研究開発分野として重要と思われる話題</p>	<p>現状では、特定な成分に目を向けた食品の機能性研究が多いが、ヒトの栄養全体を基としての評価が重要であろう。畜産分野でも飼料の機能性評価のための研究が行なわれているが、十分な実験計画と屠殺解体まで可能な家畜を用いた機能性評価研究は食品の機能性評価にとっても有効な情報となるであろう。</p>
<p>3. その他の発表課題で関心のあったもの</p>	<p>今回のセミナーでは、畜産物の機能性評価に直接的に役立つと思われる情報は少なかった。これは演者の研究歴からして、止むを得ないことなのかもしれない。新しく統合された研究コアには畜産物機能研究チームも参加しているので、新しい生研機構の今後の組織的活躍に期待した。</p>
<p>4. 今後研究開発課題採択に当たって参考とすべき事項等</p>	<p>今後提案が多くなるものと予測される食品としての畜産物や飼料の機能性を評価しようとする課題については、成分の測定法、実験計画、成果の適用範囲や費用対効果について十分配慮した精査が必要であろう。</p>
<p>5. 会議の所感</p>	<p>このセミナーでは珍しく県関係出席者の1/3が畜産分野の研究者であり、地域特産の畜産物を視野に入れていることが伺わせられる。しかし、成分的な機能性を証明することは困難なことが予測され、食味評価法が確立されていない現状において畜産物はまず安心・安全の効用を研究開発目標の上位に据えるべきと考えられる。</p>
<p>報告者</p>	<p>針生 程吉</p>